



御園だより

令和6年度 3月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



今だ つなげ 熱い思い ～御園が創る最高の一時～

御園祭展示の部

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。令和7年3月7日（金）15時30分～16時30分、8日（土）8時30分～11時に本校におきまして御園祭展示の部を開催いたします。8日（土）は1校時～3校時に各教室等におきまして授業公開（3学年は2校時に薬物乱用防止教室を開催）を実施いたします。「今だ つなげ 熱い思い ～御園が創る最高の一時～」のスローガンのもと、生徒たちは平素の学習活動の成果の発表に向け、その向上の意欲をいっそう高め、文化や芸術に親しみ、学習に取り組んでいます。また、実行委員を中心に全校生徒が協力し準備を進める中、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度が育まれています。つきましては、ご多用のことと存じますが、生徒たちの学習の成果をご覧いただくとともに授業をご参観いただければ幸いです。保護者、地域の皆様のご来校を心よりお待ちしております。

学校評価のまとめ

令和6年度の学校評価アンケートへのご回答のご協力ありがとうございました。生徒、保護者の皆様の学校評価とともに教職員による自己評価及び学校評議員による学校関係者評価を実施しております。主な項目の結果は次のとおりです。「学校生活・学級生活を楽しんでいる」は生徒94.8%・保護者90.1%でした。主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考えている生徒は、学校に行くのは楽しいと回答している傾向が見られます。「授業や日常生活で問題を解決するためにタブレット端末を活用している」は生徒87.0%・保護者83.2%でした。協働的な学びと個別最適な学びの両方に取り組んだと考えている生徒は、学力調査の正答率が高い傾向が見られます。「ICT機器を活用した授業により、自分の考えを深めることができています」は生徒90.6%・保護者72.1%でした。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、考えをまとめ、発表・表現する場面でICTを活用している傾向が見られます。また、課題の解決に向けて自分から取り組んだと考える生徒ほど、学力調査の正答率が高い傾向が見られます。「学級通信や学校のホームページ、まなびポケット等により、学校の様子がよく分かる」は生徒95.3%・保護者93.1%でした。学校の風土と欠席日数の関連を示すデータ、学校の風土の「見える化」に着目した研究もあります。「自分にはよいところがある」は生徒81.5%でした。主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考えている生徒は、自分にはよいところがあると思うと回答している傾向が見られます。生徒、保護者、地域の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、学校の取組の改善に生かしてまいります。＊太字は令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）から

教職員研修

令和6年度校内研修テーマを「新たな授業モデルの構築と深い学びに向けた教師の授業力の向上」とし、ほぼ毎月計10回、学校の教育課題に関する校内での教職員研修を実施してまいりました。校外での研修や研究を含めると教職員はさらに多くの研修等に参加しております。各研修等の内容を校内に還元し、生徒にとってより安心して学べる学校づくりに努めてまいります。令和6年度の本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

本校ホームページ「Misono Diary」に活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。